

県 SSH 生徒研究発表会

1月22日（水）、石川県地場産業振興センターにて、令和6年度石川県SSH生徒研究発表会／いしかわNSH 課題研究発表会が行われました。これは県内のSSH指定校である小松高校・金沢泉丘高校・七尾高校と、県のNSH指定校である小松高校・金沢泉丘高校・七尾高校・金沢二水高校・金沢桜丘高校の5校が合同で課題研究の発表を行うものです。

本校からは、代表として『メダカは鏡に映った自分を「自分」と認識できるのか』、『尿素の散布量と融解した氷の質量の関係について』、『七尾高校所蔵ヤマイヌ剥製標本はニホンオオカミか』、『粘着テープにおける摩擦ルミネッセンスの発生条件について』の4グループが口頭発表しました。校内での発表会とは違った緊張感の中での発表となりました。また、口頭発表の4グループを含めた全てのグループがポスターセッションを行いました。

口頭発表の様子



★生徒の感想★

- 今回の発表会は、一度発表を聞いた他校の班でも、より詳しく研究が深められており、より洗練された発表を聞くことができて楽しかった。
- 発表するときの構成が伝わりやすくなっているグループが多くてポスターの構成も参考になりました。
- さまざまな視点から実験している研究が多くて面白かった。自分にはない視点を持っている人達の研究発表を聞くのはとても楽しかった。

ポスターセッションの様子

